



横須賀中央エリア まちづくりガイドライン

横須賀中央エリアまちづくり検討会議

横須賀市



横須賀中央エリアまちづくりガイドライン

目次

はじめに	・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3-4
------	------------------------

横須賀中央まち案内 MAP

(横須賀中央エリアまちづくりガイドラインのエリアについて)

まちの方向性	・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5-6
--------	------------------------

まちの方向性1 「街を歩いて いろんなお店に行ってみたい」

まちの方向性2 「くらしやすく 散歩したくなる街にしたい」

まちの方向性3 「横須賀っばい！って言われたい」

まちの方向性4 「キレイな街って みんなが気持ちいいよね」

未来へ向けたまちの方向性に対する対応策	・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7-8
---------------------	------------------------

①賑わいのある商業空間、楽しい市街地空間を設える

②歩行環境の整った、緑のうるおいある歩行者空間をつくる

③空への開放感のある、景色を楽しめる市街地とする

④横須賀中央固有の特徴・景観を向上させる

詳細解説

① 賑わいのある商業空間、楽しい市街地空間を設える

- ①－１ 建物用途について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
- ①－２ 敷地内空地の計画について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
- ①－３ 街並みには一体感を持たせ、各店舗ごとにデザインを工夫する・・・・ 10
- ①－４ 屋外広告物について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
- ①－５ 各通り別の街並みについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
- ①－６ 安心・安全なまちづくりについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

② 歩行環境の整った、緑のうるおいある歩行者空間をつくる

- ②－１ 歩行者空間の考え方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
- ②－２ 車と歩道の関係について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
- ②－３ 既存の緑の活かし方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
- ②－４ 街に積極的に緑を取り入れる・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
- ②－５ 街の動線について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14

③ 空への開放感のある、景色を楽しめる市街地とする

- ③－１ 建物の形態について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
- ③－２ Yデッキからの眺めを整える・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
- ③－３ 建築物等の外観の色彩について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16

④ 横須賀中央固有の特徴・景観を向上させる

- ④－１ 横須賀らしさの演出・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17

横須賀中央まちづくりガイドラインの構成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18

はじめに

三浦半島でいちばん大きな街、横須賀中央。

これから横須賀中央はさまざまな再開発や建替えが進み、新しく生まれ変わろうとしています。

10年後、20年後の横須賀中央が、住んでいる人、働いている人、観光や買い物に来た人など、いろいろな人にとって「面白いな、居心地がいいな」と思える場所が増えていくように、そしてだれもが「楽しい場所」を見つけることができる街を目指します。

このガイドラインは、街を空間・環境・景観の視点から見つめ、こんな横須賀中央にしたい！という想いを街のみなさんと考え、検討を重ねてきたものをまとめました。

みなさんが思い描くステキな街にしていくには、街に関わる全ての人の力が必要です。

この街の景観やこれからについて一緒に考えていきましょう。

横須賀中央エリアまちづくり検討会議
横須賀市

横須賀中央を
どんな街に
したい？

横須賀中央まち案内MAP

今の横須賀中央ってどんなところなのか。

今の横須賀中央で残したい街の姿は何なのか。

街の今をまとめてみました。

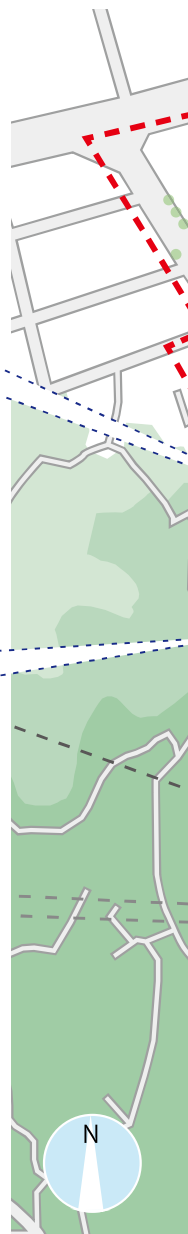
三笠ビル商店街…

昔から横須賀中央の繁華街として賑わいをみせる活気ある通り。記念艦三笠と同じくらいの全長の全天候型の商店街は、いつも買い物客でにぎわっている。



豊川稲荷（大勝利山）…

横須賀中央の中心市街地からの眺めが気持ちの良い自然の緑で大切な景観である。豊川稲荷までの参道は緑に囲まれた静けさの漂う別世界。





市街地から見える緑の稜線…

横須賀中央を歩くと所々垣間見える、緑の稜線。横須賀中央の街の景観としてうるおいをあたえている。



市役所前公園…

横須賀中央の中心部における唯一の緑あふれる憩いの場。各種イベントも行われ、常に人が集まる都市公園。



Yデッキ… 駅前のペDESTリアンデッキ。横須賀中央のどの方面にもアクセスでき、中央大通りのけやき並木を一望できるデッキ。花壇は季節の花々に彩られ、ベンチには待ち合わせの人が憩う駅前広場。



歴史の記憶を繋ぐ小路… 西暦1923年(大正12年)関東大震災以後、海軍により防火対策等で中央大通りや若松通りなどの大きな通りが整備される以前からある小路。

三笠通りもその内のひとつであり、横須賀のまちづくりの推移を語る歴史ある通り。内部に通路として残している建物もある。(THE PRIME、LIDRE)



ガイドラインのねらい

横須賀中央エリアまちづくりガイドラインは、近い将来大きく変貌していくであろう街の姿に思いをはせて、※横須賀中央エリアまちづくり検討会議が横須賀中央に必要な景観やまちづくりについて考えてきました。横須賀中央商店街まちづくり協定の内容も参考に、この街に必要なもの、受け継いでいきたいもの等を盛り込み作成しています。

横須賀中央エリアが、にぎやかで楽しい商店街としての魅力を最大限生かせるよう、またどこの街とも違う横須賀の個性を持ったまちづくりができるよう、このエリアで市街地再開発事業や個別の建て替え等行う際に、事業主や建築設計者、開発業者等のみなさまにこのガイドラインが活用されることを願っています。

※横須賀中央エリアまちづくり検討会議とは

エリア内の街に関わる人々が集まり、横須賀中央エリアの今後の更なる活性化を図るべく、街のあるべき姿について検討し、まちづくりアドバイザーを迎え、景観まちづくりガイドライン策定にむけた検討会議を行なってきた。

● 構成メンバー

大滝商店街振興組合 / 千日通商店街振興組合 / 三笠ビル商店街協同組合 / 若松商店街振興組合 / 大滝町会 / 若松町会 / 一般市民 計 14 名

まちの方向性 1

「街を歩いて いろんなお店に行ってみたい」

来た人が街歩きを楽しむ機会が増えるように
ゆとりある都市空間をつくる

- A** 商業テナント等の構成やオープンスペースの作り方を工夫して、賑わいのある商店街をつくり、街歩きをもっと楽しめるようにする。
- B** 安全で歩きやすい歩行者環境をつくることで、散策を楽しめる街を目指す。
- C** 地上やデッキ、路地など変化に富んだワクワク感が感じられるように街並みの特徴を際立たせ、それらをネットワークしているような街歩きが楽しめるようにする。

まちの方向性 2

「くらしやすく 散歩したくなる街にしたい」

街中に暮らすことの利便性と緑豊かな街を実感できるように街並みの賑わいと憩いの場をつくる

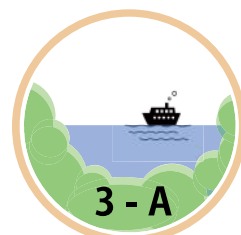
- A** 日々の暮らしを支える充実した商業機能の賑わいを創出し、歩いて暮らせる街としての利便性を最大限活用できるようなまちづくりを目指す。
- B** 街中に誰もが憩えるようなスポットを設置することで、お気に入りの場所で楽しみながら休憩できるようにし、街路樹と共に植栽帯や花壇、街の飾り付け等によって季節感や街のゆとりを表現する。

まちの方向性 3

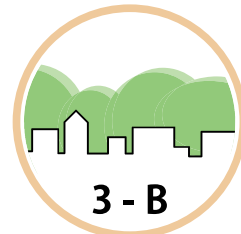
「横須賀っぴい！って言われたい」

固有の歴史や風景、横須賀らしい特徴を活かし、それを楽しむ機会を増やす

- A** 横須賀らしい緑豊かで海を感じさせ、開放感あふれる都市空間づくりを目指す。
- B** 街なかから見渡せる後背地の緑や稜線などの周囲の風景を大切にし、街の宝として将来の世代にも引き継いでいく。
- C** Yデッキからの、駅前街区や中央大通りの眺めは、街の顔にふさわしい景観やデザインとなるように工夫し、美しい街並みを楽しめるようにする。
- D** 軍港都市として発展してきた街の歴史やジャズ等のアメリカ文化、古くからの社寺や近代土木遺産等の建築物を大切にし、街歩きの風景として楽しめるようアピールする。



3 - A



3 - B



3 - C



3 - D

まちの方向性 4

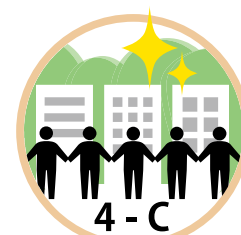
「キレイな街って みんなが気持ちいいよね」

街並みや人々が利用する空間の視覚的な美しさ（景観）を向上し、清潔さを維持する

- A** 美しさや心地良さはより良い街並みづくりの基本であると認識し、横須賀市民や地域の共有財産として、美しさ（景観）の向上を目指す。
- B** 美しい街並み景観を実現するために、開発に際して建築物等の計画に十分に配慮し、道路等の公共空間と協調した外構の設えや緑化に努め、広告物や工作物にも景観への配慮を工夫し、照明等による夜間景観の向上を目指す。
- C** 美しい街並み景観を維持するために、この街に関わるみんなで景観の維持活動等に積極的に参加し、美しく清潔な街並みを維持するために役割を分担する。



4 - A



4 - C

未来へ向けたまちの方向性に対する対応策

- ① 賑わいのある商業空間、楽しい市街地空間を設える
- ② 歩行環境の整った、緑のうるおいある歩行者空間をつくる
- ③ 空への開放感のある、景色を楽しめる市街地とする
- ④ 横須賀中央固有の特徴・景観を向上させる

こうだったらいいな、そんな気持ちが心地よい街を作り出す原動力となります。

①～④の項目が街の中でどんな気持ちから生まれてきた事柄なのか、その内容を下記に示しました。

① 賑わいのある商業空間、楽しい市街地空間を設える

a

「1階2階は
お店にしよう」



横須賀中央は大きな大きな商店街。低層部には商業・飲食・業務系用途を導入し、街の賑わいに連続性をもたせる。

b

「ちょっとした街角で
外をもっと楽しみたい」



セットバックして広がった公共の空地に植栽帯や広場などを作り、店舗と一体となったオープンスペースやちょっとしたベンチで一休みできるような公共的な空間を演出する。

c

「一体感のある街並み
には価値が生まれる」



建物の低層部は単調な印象を与えないよう、親しみや賑わいを感じる空間づくりを行う。また、統一されたサイン等や道路付属物、シーズンごとの飾付けなどで、街全体の統一感や季節感等を演出する。

d

「大通りは明るく、
路地は個性的な
お店を楽しみたい」



大通りは明るいショッピングストリートとし、路地は期待感や意外性を持たせた魅力ある雰囲気とする。各通りや個人商店の個性を大切に、街並みに合った店舗、デザイン、ディスプレイ、看板等とする。

e

「安心して
楽しめる街がいい」



家族で来た時も子どもを安心して遊ばせられる場所があったり、使いやすいトイレや分かりやすいサインの設置、また客引き行為を防止することで、昼も夜も安心して楽しめる街とする。

写真提供：
ワークヴィジョンズ

③ 空への開放感のある、景色を楽しめる市街地とする

a

「圧迫感を感じ
させない計画に」



開放感や統一感のある建物形態を意識し、中央大通り沿道建物は、セットバックさせた高層部のラインを揃える等、街並みに連続性を表現する。

b

「建物の高層化は
より細やかな配慮
が必要」



計画が高層建築物である場合、高層部分はセットバックやデザイン等によって開放感ある計画とし、また、外観の色彩も周辺の自然環境や街並みと調和させる等の配慮が必要である。

c

「Yデッキは街の玄関口」



Yデッキや駅前街区は街の顔であることを認識し、改札を出た時の眺めや街の目抜き通りである中央大通りの街路景観を楽しむビューポイントとして設える。

横須賀中央の街が近い将来どのような変化をしていくかをふまえた上で、
4つの方向性をどんなふうにまちづくりに反映させることができるかを考えます。

<想定される街並みの変化>

- ・小さな店舗が集約し、大きな街区での大規模な建物となり、高層化する
- ・1階がエントランスだけの高層マンションの建設
- ・商店街の通り沿いに商業系の店舗が連続しない計画になる
- ・大規模な建物が敷地いっぱい建てられ街が狭く感じる
- ・駐車場の出入口、搬入車両の経路など計画され、歩道が分断される など

こうした変化からできる限り横須賀中央らしさを残し、はじめにイメージした4つの方向性を持った新しい街にしていくため、空間・環境・景観の視点から見つめた具体的な対応を①～④の項目としました。

②

歩行環境の整った、緑のうるおいある歩行者空間をつくる

a

「みんなにやさしい
歩行者空間にしよう」



b

「歩道は車と分離し
安心して歩きたい」



c

「こんなに身近な
自然の緑は街の宝物」



歩道と民地の路面は、バリアフリーに配慮した、段差がなく滑りにくい路面とし、ビル風や照り返しのない安全で快適な歩道とする。街中に駐輪場やベビーカー置場を設け歩行者に優しい街とする。

歩行者空間の安全性や街の連続性を保つため、車の出入りを行なわないことが望ましい。また、バス停周辺は利用者や歩行者にとって安全で快適な空間とする。

街なかから垣間見える緑の稜線の景色を維持するために、交差点は、開放感のある建物配置とし、ゆとりある街角とすることで通景空間を確保し、緑を楽しめる歩道とする

d

「街なかにこそ
緑のうるおいが必要」



e

「街歩きを楽しめる
ネットワークを作りたい」



快適な街路空間とするために、公共に面した場所ではできるだけ緑化をし、歩いている時も緑を感じる空間づくりをする。

駅・Yデッキから憩える場所や路地をめぐること、横須賀中央の街を楽しめるネットワークを意図した計画とする。

これらの事がらをふまえて、

④

横須賀中央固有の特徴・景観を向上させる

a

「どこにでもある
街にしない」



街なかの横須賀らしさを大切に、新しく作られる街角にもそれらの特徴を活かしつつ、より楽しめるような空間を演出する。

きれいな街を作り、みんなで維持していこう！

これからの横須賀中央にふさわしい街並み景観を実現するために、これまでの内容について理解し、建築物や広告物、工作物等についても景観への配慮を十分に行ないましょう。

美しい街並み景観を維持するために、施設所有者等はその維持管理に責任を持つことが必要です。地域の団体や商店街、市民ひとりひとりが積極的に美しく清潔な街並みを維持していくことが大切です。

①-1

建物用途について

- 建物の低層部（1階や2階）の用途には、商業・飲食・業務系等（風俗営業等を除く）非住宅を導入し、街に賑わいをもたらすとともに街並みに連続性を持たせる。
- 工場、流通倉庫、ガソリンスタンド、ワンルームマンション、風俗営業、駐車場出入り口などは避けることとする。

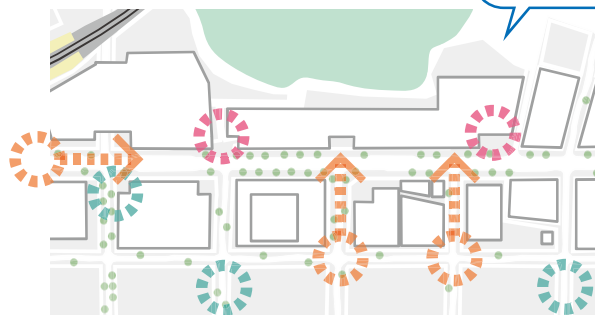


1階2階は
お店にしよう

①-2

敷地内空地の計画について

- 街角にはその性格に応じて視点場^{※1}、休憩場^{※2}、修景場等の機能を持たせ、ゆとりある街区のつくりとするために、敷地内空地を確保するようにする。
- 敷地いっぱいには建築物を建てると窮屈な街並みになってしまう。建物配置を工夫し、植栽やベンチ、店舗と一体になったオープンスペースなど街にうるおいを与えるような敷地内空地を確保する。



ちょっとした街角で
外をもっと
楽しみたい

視点場、休憩場、修景場等の例

※1 視点場とは…ビューポイントのこと。視点となる人や車等からの眺望。

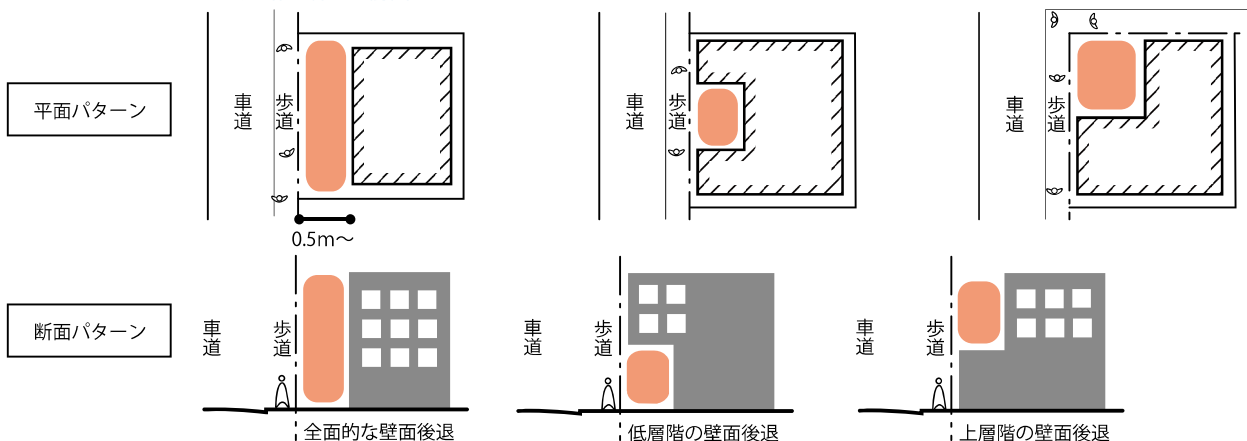
※2 修景場とは…景色を損なわないよう植栽等で視点場からの景観を調整する場所。

<前面空地の例>

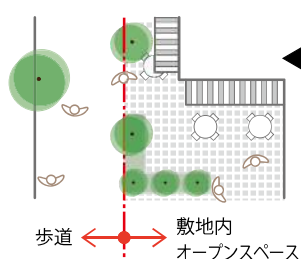
● 道路に沿った前面空地のパターン

● スクエア型前面空地のパターン

● 角地空地のパターン

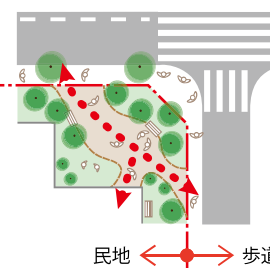


<前面空地の利用例>



敷地内空地を広域的に設けることで、店舗と一体的に利用したり、ミニイベントを行う広場として人々が憩える場所となる。

角地の空地は視界が開け、安全性も増す。また建物入口があることで人が集まる場所となり、賑わいが生まれる。



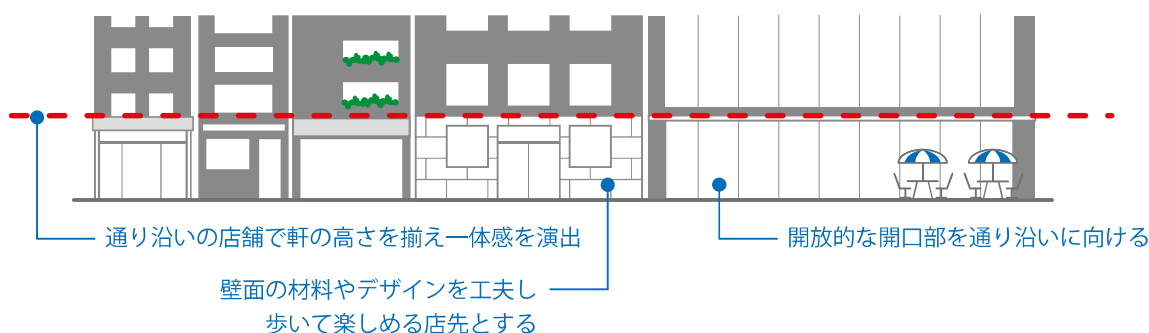
① 賑わいのある商業空間、楽しい市街地空間を設える

①-3

街並みには一体感を持たせ、各店舗ごとにデザインを工夫する

一体感のある街並みには
価値が生まれる

- 歩行者空間を一体感や連続性が感じられるようデザインし、街並みに一体感を持たせる。
- 建築物の低層部は街ゆく人々の視線に入りやすく、その街の雰囲気大きく影響を与えるため、壁面デザインを工夫し、視覚的なやわらかさを感じさせる形態や意匠を心がける。



①-4

屋外広告物について

看板はすっきりと

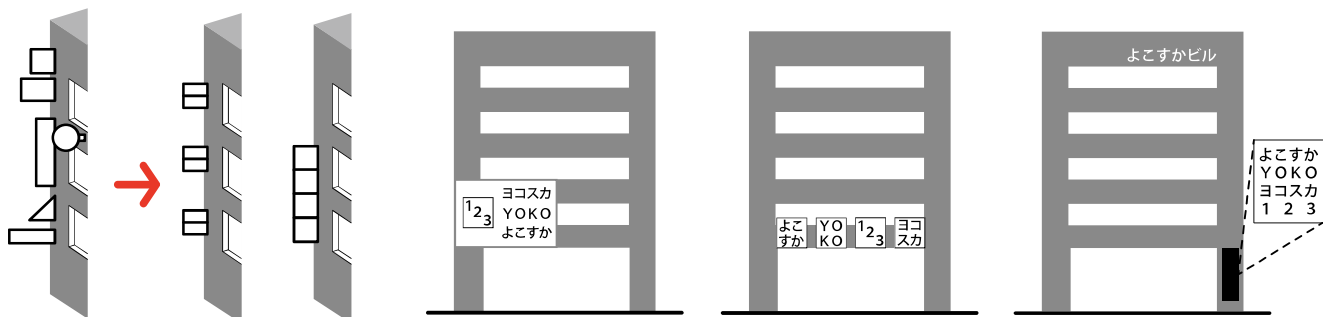
- 看板など屋外広告物は、横須賀市屋外広告物条例を遵守し、街並みが乱雑にならないようすっきりとしたデザインとする。
- 街並みと調和のとれたデザイン・色彩とする。

◆ 設置位置や色彩を統一・集約する

◆ 1か所にまとめた表示

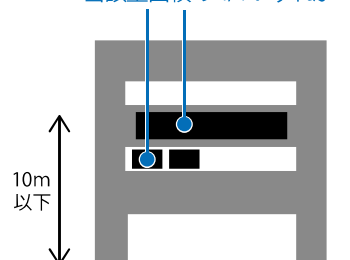
◆ 設置位置や大きさの統一

◆ 一つの標示への集約



- 一建築物の一壁面に設置する広告物の合計面積は、窓の内側に設置する広告物を含むものとする。
- アーケード上部の消火足場上空に突出する広告物（そで看板等）の下端は、消火足場からの消火活動に支障をきたさない位置（消火足場から概ね 2.5m以上離す）とすること。

30㎡または高さ 10mの
当該壁面積の 1/4 いずれか



① 賑わいのある商業空間、楽しい市街地空間を設える

①-5

各通り別の街並みについて

大通りは明るく
路地は個性的なお店を楽しみたい

- 横須賀中央には各通りに個性があり、各街区の個性を出しつつ、洗練された店舗、店舗デザイン、ディスプレイ、看板等を導入する。



◆ 中央大通り・若松通り

…二つの大通りは歩行者空間と沿道店舗によって明るく楽しいショッピングストリートとしての雰囲気をデザインすること。

◆ 千日通り

…大通りから入り、飲食店や物販店等が並ぶ中通りとして、建物の見せ方に配慮し、やむを得ず店舗等が計画できない場合も商店街の賑わいを分断しないよう工夫する。

◆ 昔からある小路

…昔から小さな個性的な店舗が立ち並んでいる路地。その雰囲気を継続するように配慮すること。

①-6

安心・安全なまちづくりについて

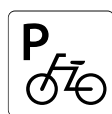
安心して
楽しめる街がいい

- 誰にでも分かりやすく表示されたサインの設置により、トイレや公園、駐輪場等の場所が分かるようにする。
- 誰もが一休みしやすい場所や、子どもが安心して遊べるようなスペースを作る。
- 夜間でもショーケース等の照明は付けるようにしたり、イルミネーション等点灯することによって、昼夜問わずショッピングストリートとしての楽しい雰囲気を演出するようにする。
また、死角をなくすように防犯カメラ等を設置する。

◆ 分かりやすいサイン表示



お手洗い



駐輪場

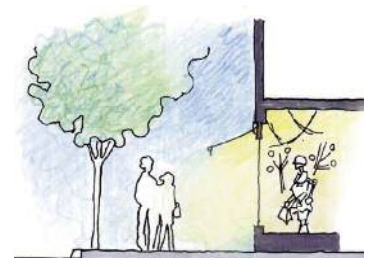


鉄道 / 鉄道駅



乳幼児用設備

◆ 市役所前公園



▲ 店先のショーウィンドウのみ点灯し
楽しい雰囲気を演出

② 歩行環境の整った、緑のうるおいある歩行者空間をつくる

②-1

歩行者空間の考え方

- 建物沿いの主要な歩行者空間はだれもが街並みを楽しく快適に歩ける場とする。
- 敷地内空地と歩道等は段差のない仕上げとし、連続性を持たせることとする。また、照り返しが無く、滑りにくい舗装とする。

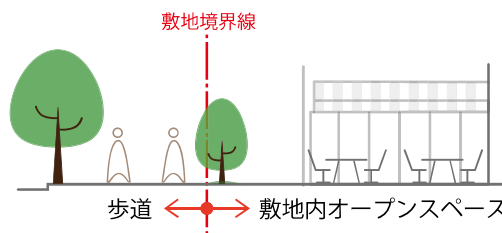
<歩道仕上げ例>

◆ 一般歩道部

… 自然石洗い出し透水性コンクリート舗装

◆ 歩道切下げ部

… 自然石半たわみ性舗装（洗い出し仕上げ）



みんなにやさしい
歩行者空間にしよう

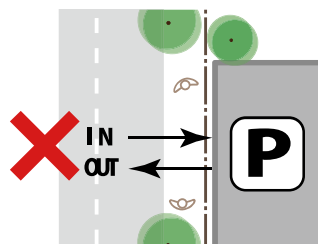


◆ リドレ前歩道

②-2

車と歩道の関係について

- メインとなる通りには原則として歩道を横切るように駐車場の出入口を設けないこと。
やむを得ず車の出入りを行う場合は、歩道の切り下げを最小限にする等、高齢者やベビーカー、車いす等の歩行者が歩きやすいよう、歩道の水平部分を十分確保すること。
- バス停には屋根を設け、また歩道上に設ける場合は歩行者の動線を妨げないよう配慮すること。



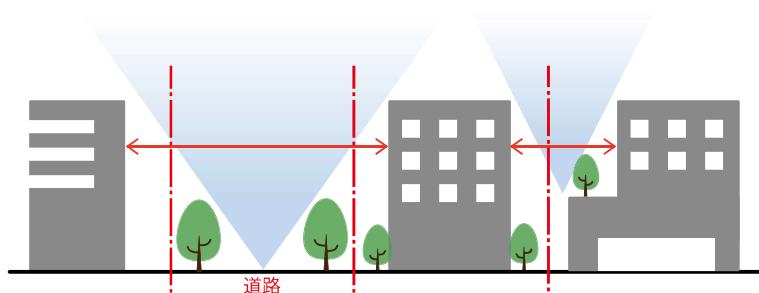
歩道は車道と分離し
安心して歩きたい



②-3

既存の緑の活かし方

- 中央大通りと交差する街路や交差点は、大勝利山などの緑が見渡せるゆとりある街角のつくりとし、沿道建物の配置によって通景空間を確保する。



- ◆ 通景空間を確保し、開放感ある街並みを維持するために、十分な隣棟間隔を確保する。



こんなに身近な
自然の緑は街の宝物

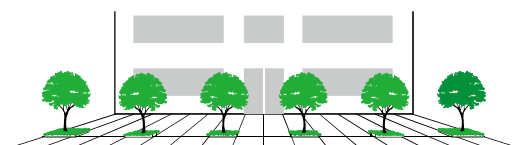
②-4

街に積極的に緑を取り入れる

街なかこそ
緑のうらおいが必要

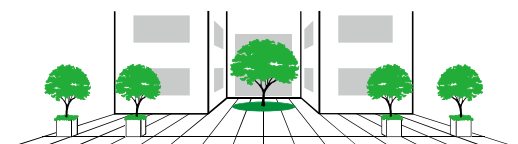
- 敷地の周囲や建築物の周りにはできるだけ植栽を設けたり、植樹を行うなど緑を取り入れて、緑あふれる街並みをつくる。
- 後背地の山の緑とつながり、自然の風や木陰による夏の暑さ対策、街なかの心地よさ、緑豊かな横須賀を感じることができる市街地とする。

<目的別の植栽例>



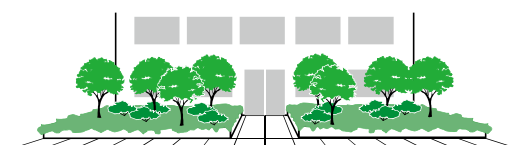
●修景植栽

目的…緑による敷地の外周や建築物の周囲の良好な景観づくり
対象…商業施設、業務施設、公共公益施設の前面空地など



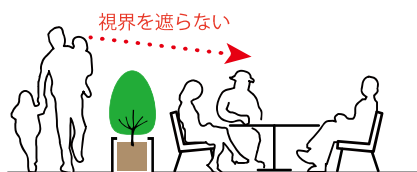
●演出植栽

目的…特定の場所や位置の強調、視覚的な変化の演出
対象…角地、アイストップになる場所、敷地や建築物の主要な入口、人が集まる敷地内のスクエアや中庭など



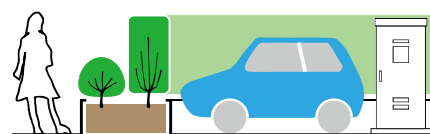
●緩衝植栽

目的…交通騒音の軽減、プライバシーの確保、落ち着いた環境の確保、建築物の圧迫感の軽減、無機質な物等をやわらかく見せる
対象…集合住宅、教育施設、医療・福祉施設の周囲、建築物の開口部の少ない外壁部分、立体駐車場の周囲など



●境界植栽

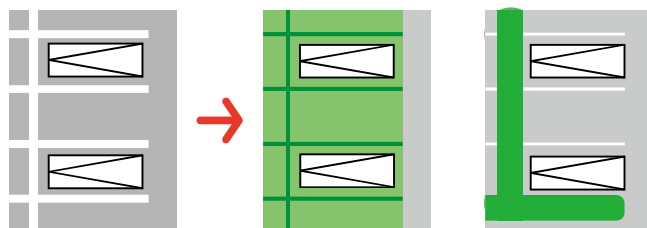
目的…空間の区分、人の動線の整理、敷地内の管理や防犯性の確保 など
対象…主要な出入口付近、プライベート空間の周囲、建築物の側面や背後 など



●遮蔽植栽

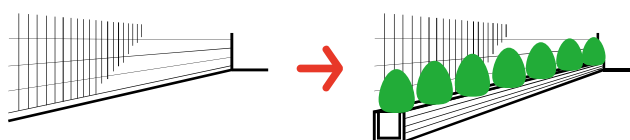
目的…目障りなものや乱雑なものの遮蔽
対象…屋外駐車場や駐輪場、ゴミ置き場や物置の周囲、屋外建築設備の周囲 など

●駐車場の舗装



◀ 駐車場もアスファルト舗装に白線標示を、緑化ブロックによる舗装や植栽帯等で囲うと、殺風景な駐車場を周囲の景観になじむよう修景することができる。

●無機質な外壁の修景



◀ 開口部の少ない無表情な外壁、屋外設備などが設けられた部分や無機質なフェンスなどは植栽と組み合わせ、修景を行うとやわらかい印象になる。

② 歩行環境の整った、緑のうるおいある歩行者空間をつくる

②-5

街の動線について

街歩きを楽しめる
ネットワークを作りたい

- 大きな街区の単位で建築行為を行う場合は、敷地内、建物内にデッキや路地などの歩行者空間を取り込む。
- 隣接する特徴的な街（ドブ板通りや三笠公園、上町など）への導入部（街角）は回遊動線の結節点として際立たせる。



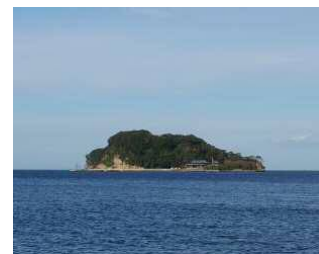
1 ドブ板通り商店街



2 米国海軍横須賀基地



3 三笠公園



4 猿島



5 中央図書館



6 中央公園



7 税務署・警察署など庁舎街

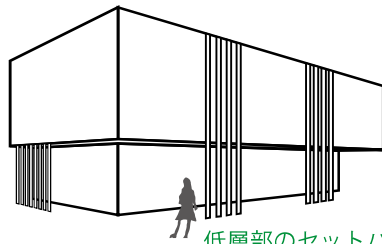


8 ポートマーケット

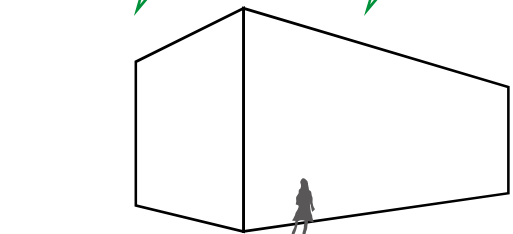
③-1

建物の形態について1 (単調な壁面にしない)

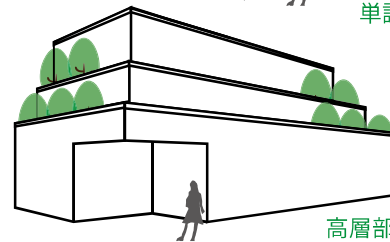
- 道路側の建物の立面は、単調で長大な壁面が圧迫感を与えないよう表情のあるデザインを施し、街に対してどのような景観を作るのか考えて優れたデザインを行う。



低層部のセットバックにより
歩行者空間にゆとりを持たせる



単調で無表情な立面



高層部のセットバック及び
植栽により圧迫感を軽減

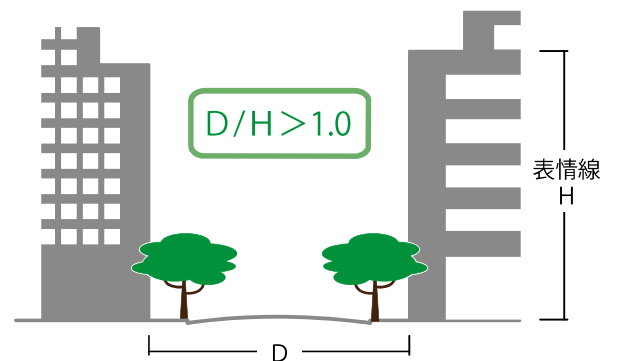
圧迫感を
感じさせない計画に

建物の高層化は
よりきめ細やかな配慮が必要

建物の形態について2

(通りの連続性と圧迫感の軽減)

- 開放感のある道路幅員Dと沿道建物高さHの比
 $D/H > 1.0$
を意識し、沿道建物のおおむね 20mの高さを表情線として街並みの連続性と軒の表情を演出する。
- 建物高層部分はセットバックや壁面のデザインによって周囲の建物と連続させ、街並みに一体感を与える形態とする。

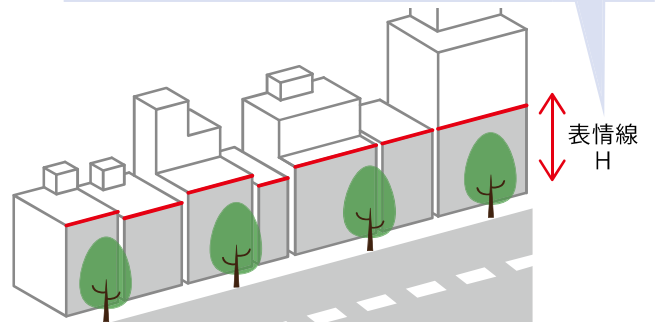
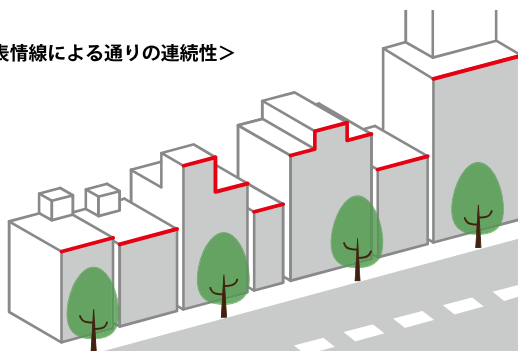


中央大通りは約 20m (D) の幅員であるため、中央大通り沿道建物の表情線の高さは約 20m (H) を基本とする。

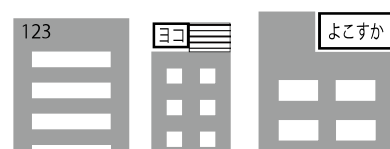
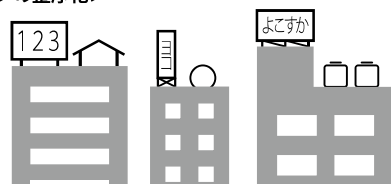
◆表情線とは

低層部と高層部が分かれる境界線であったり、壁面のデザインを分ける境界線として統一させ、街並みに統一感を持たせる。

<表情線による通りの連続性>



<スカイラインの整序化>



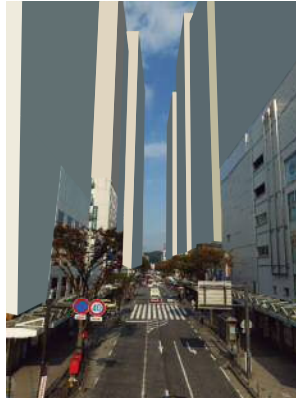
③ 空への開放感のある、景色を楽しめる市街地とする

③-2

Yデッキからの眺めを整える

- 駅前のYデッキは街路景観を楽しむ視点場として設けるとともに、Yデッキや隣接街区は通りから見てランドマークとなるように設える。

高層部をセットバックさせ、
表情線を揃えた街並みの例



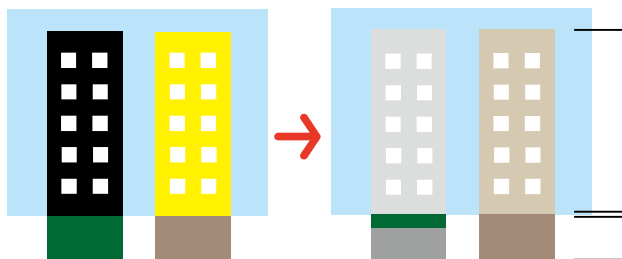
Yデッキは街の玄関口

③-3

建築物等の外観の色彩について

- 街の景観は山や植栽といった自然の要素と、建築物等の人工の要素で構成される。秩序ある色彩景観を作っていくためには、建築物等の外観の色彩が、周辺の自然環境や街並みと調和していくことが必要である。
- 建築物等の外観の色彩は、横須賀市景観計画を遵守し、色彩基準にのっとた色彩計画とすること。
- 外壁は、各店舗の個性を活かしつつ、通りの風格づくりに寄与するデザインとし、汚れが目立たない耐久性のある材料を使用する。

建物は
周囲と調和する景観に



◆ 高層部 … 外壁の色彩は原則として空に溶け込む白、グレー、ベージュの落ち着いたアースカラーを基調とし、街並みが調和するようにする。

◆ 低層部 … 賑わいを感じられる基準以外の色をアクセントとして用いることも可能とする。

■ 色彩基準

「横須賀市景観計画」では下記のとおりマンセル値による色彩基準を定めています。
屋根や外壁などの外観の基調色は、表に示す数値以下の色彩としてください。

色相	彩度
R(赤)・YR(黄赤)	6 以下
Y(黄)	4 以下
GY(黄緑)・G(緑)・BG(青緑)・B(青) PB(青紫)・P(紫)・RP(赤紫)	2 以下

<建物高層部の色彩例>

N-9.0	10 YR 9.0/0.5	10 YR 9.0/1.0	2.5Y 9.0/1.0
N-8.0	10 YR 8.0/0.5	10 YR 8.0/1.0	2.5Y 8.0/1.0
N-7.0	10 YR 7.0/0.5	10 YR 7.0/1.0	2.5Y 7.0/1.0

④ 横須賀中央固有の特徴・景観を向上させる

④ - 1

横須賀らしさの演出

どこにでもある街にしない

- 街の中の横須賀らしさを活かし、ストリートアート、ストリートファニチャー、植栽、飾りつけ等を施し、街に楽しさを演出する。

<活かしたい横須賀らしさ>



◆ 中央大通りのけやき並木



◆ 駅前広場



◆ Yデッキ



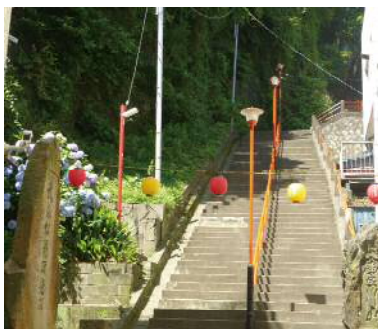
◆ 昔からある路地の雰囲気



◆ 市役所前公園



◆ イベントで賑わう市役所前公園



◆ 豊川稲荷の参道（大勝利山）



◆ 横須賀ジャズ



◆ 若松マーケット



◆ 千日通り商店街



◆ さいか屋



◆ 横須賀モアーズシティ

横須賀中央エリアまちづくりガイドラインの構成

横須賀市の景観政策「横須賀市景観計画・景観条例」

1. 横須賀中央エリアまちづくりガイドラインのねらい

2. まちづくりガイドラインの方向性

まちの方向性 1

来た人が街歩きを楽しむ機会が増えるようにゆとりある都市空間をつくる。

まちの方向性 2

街なかで暮らすことの利便性と緑豊かな街を実感できるように街並みの賑わいと憩いの場をつくる。

まちの方向性 3

固有の歴史や風景、横須賀らしい特徴を活かし、それらを楽しむ機会を増やす。

まちの方向性 4

街並みや人々が利用する空間の視覚的な美しさ（景観）を向上させ、清潔さを維持する。

想定される市街地の変化

3. 方向性の実現に向けた具体的対応への方針

・街全体についての具体的対応の考え方

① 賑わいのある商業空間、楽しい市街地空間を設える。

② 歩行環境の整った緑のうるおいある歩行者空間をつくる。

③ 空への開放感のある、景色を楽しむ市街地とする。

④ 横須賀中央固有の特徴・景観を向上させる。

4. 景観まちづくりガイドラインとしての具体的な内容

・ガイドラインの詳細解説

①への対応方針

歩行者目線での市街地空間についての考え方

②への対応方針

歩行環境についての考え方

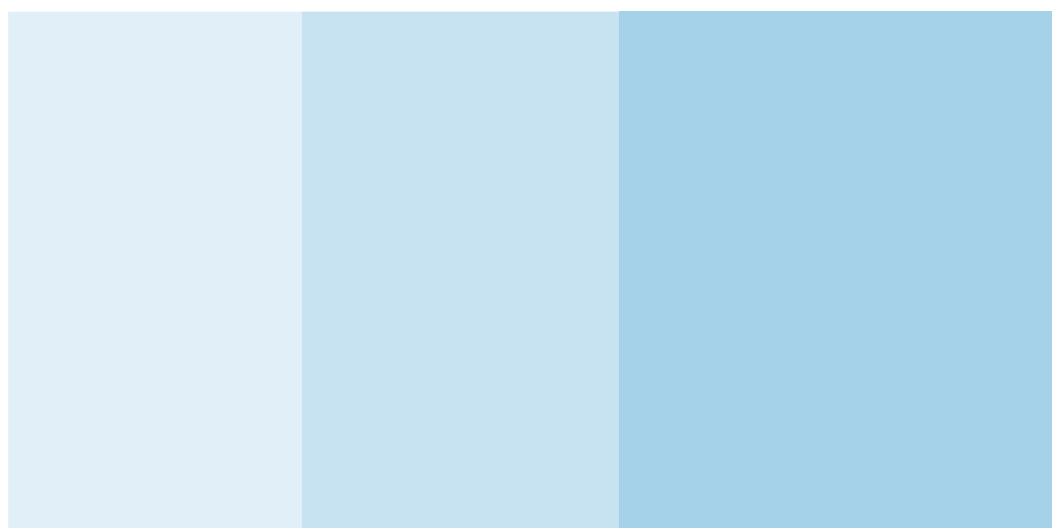
③への対応方針

遠景からの街全体の姿をふまえた考え方

④への対応方針

横須賀中央らしさを活かしたまちづくりへの考え方

5. ガイドラインの運用



■ 作成日 ： 2018 年（平成 30 年）3 月 23 日

■ 事務局 ： 横須賀市 都市部 まちなみ景観課

〒238-8550 横須賀市小川町 11 番地
Tel 046-822-8377
Fax 046-826-0420
e-mail keikan-ci@city.yokosuka.kanagawa.jp